

第三者評価結果 （島原市母子生活支援施設わかば）

種別	母子生活支援施設
----	----------

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人ローカルネット日本評価支援機構

②評価調査者研修修了番号

SK15136
13-A011

③施設名等

名称：	島原市母子生活支援施設わかば
施設長氏名：	横田定幸
定員：	6世帯
所在地(都道府県)：	長崎県
所在地(市町村以下)：	島原市坂上町7526番地
T E L：	0957-63-2217
U R L：	
【施設の概要】	
開設年月日	1951/8/31
経営法人・設置主体(法人名等)：	島原市
職員数 常勤職員：	3名
職員数 非常勤職員：	3名
専門職員の名称(ア)	保育士
上記専門職員の人数：	2名
専門職員の名称(イ)	
上記専門職員の人数：	名
専門職員の名称(ウ)	
上記専門職員の人数：	名
専門職員の名称(エ)	
上記専門職員の人数：	名
専門職員の名称(オ)	
上記専門職員の人数：	名
専門職員の名称(カ)	
上記専門職員の人数：	名
施設設備の概要(ア)居室数：	居室6室
施設設備の概要(イ)設備等：	図書室1室
施設設備の概要(ウ)：	静養室1室
施設設備の概要(エ)：	

④理念・基本方針

<p>・運営理念 母と子の権利擁護と安定した生活の営みを支えます。 母と子の主体性を尊重した自立への営みを支援します。</p> <p>・基本方針 「母子への支援」 母子と子の生活課題への取り組みを支援し、安心安全な環境の中で、安定した生活を目指します。 「自立に向けた支援」 母と子の意向や主体性に配慮し、歩みをともにしながら、自立に向けた支援をします。 「権利擁護」 法令を遵守し、母と子の人権を擁護します。 「運営・資質の向上」 公平、公正な施設運営に努めるとともに、職員の自己研鑽と資質向上に励みます。 「事故防止と安全対策」 災害・事故・感染症の発生・不審者侵入等の緊急時に即応できる体制作りをし、母子の安全を守ります。 「退所者の支援」 母子の退所後も生活を守り、相談に対応します。</p>
--

⑤施設の特徴的な取組

<p>・母子への権利擁護と主体性を尊重し支援を行っています。</p> <p>・母子の生活状況を把握し、信頼関係を築きながら柔軟に対応しています。</p> <p>・懇談会を定期的開催し、挙げた意見については他の利用者とも調整を図りながら取り組まれています。</p> <p>・島原市が運営する施設であり、島原市こども課や福祉事務所のほか、母子父子自立支援員や学校関係と連絡を密に取り連携を図っています。</p>

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間(ア)契約日(開始日)	2017/12/4
-------------------	-----------

評価実施期間（イ）評価結果確定日	2018/3/28
受審回数	1回
前回の受審時期	平成26年度

⑦総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>①母親と子どもへの権利養護の徹底 母親や子どもの権利が侵害されないよう、日頃の話し合いにおいて母親や子どもへの関わり方が不適切なものとなっていないか確認や振り返りの機会が持たれています。専門性を深める研修を受ける機会が少なく、具体的な支援技術の習得に苦慮している現状がありますが、子育て応援講演会など子どもの関わり方について講演会に参加し、学びの機会と捉え実践に繋げるよう努めています。地方公務員法や市の条例に基づき、職員の不適切な行為があった際には法令に沿って厳重に処分される仕組みが構築されています。</p> <p>②母親と子どもが安心して安全な生活が送れる事への支援 職員は日頃から入居者と関わりを多く持つことを心がけ、母親を支えることを視点に置いて母子が良好な関係を保てるよう小さな変化に注意を払いながら支援に努めています。子どもには規則正しい生活習慣が身につくよう必要に応じて職員が母親と子どもの仲介役を担いながら支援されています。日常生活においても利用者間でトラブルが起こらないよう関係性に配慮されています。</p> <p>③母親と子どもの意向や主体性を尊重した支援 施設では、入所する際に母と子の自立を促進した生活を支援することを目的としていることを伝え、それぞれに目標を持ちながら生活ができるよう支援がなされています。自立支援計画の目標は必ず本人が取り組めるものを設定し、職員は母親や子どもの主体性を尊重しながら個々の持つ力が発揮できるような支援に努めています。母親については就労など必要に応じて社会資源の活用につなげ、情報提供しながら将来の希望などに繋げる取り組みがなされています。</p> <p>◇改善を求められる点</p> <p>①支援の標準的な実施方法の文書化 職員は勤務経験も永く標準的な支援方法は周知されていますが、文書化するまでには至っていません。今後、理念及び基本方針に基づき、自立支援計画の策定マニュアルやアセスメント手順や様式のほか保育支援マニュアルや相談対応マニュアルなど各種業務マニュアルを整備し、標準的な実施方法を文書化することが望まれます。</p> <p>②職員の質の向上に向けた体制づくり 施設における具体的な人事考課制度や目標管理制度は導入されておらず、目標管理の仕組みが構築されているとは言えません。「期待する職員像」を明確にした上で職員一人ひとりがその役割と目標を設定し、その目標をもとに施設長が定期的に面談を行い、職員の考えやその方向性を把握しながら適切なアドバイスにつなげていくよう取り組むことが望まれます。現状では具体的な研修計画に基づいた教育・研修が実施できているとは言えません。現場のニーズは日々変動していることを踏まえ、そのニーズに対応した研修計画に基づき研修を実施するとともに定期的な計画の評価・見直しが望まれます。</p> <p>③母親と子どもへのプライバシー保護規程類の整備 世帯ごとに独立した居室となっており、職員が居室へ立ち入る場合については、基本的に事前に説明した上で行っており、プライバシーに配慮しています。尚、母親と子どもへのプライバシーは遵守されていますが、その過程を明記した規程・マニュアル類については文書化されていません。今後、母親と子どもへのプライバシー保護に関しての規程・マニュアルを整備し取り組むことが望まれます。</p>

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

<p>前回の受審の結果を受け、新たなマニュアル作りや利用者目線での支援等改善に取り組んでまいりました。今回の受審では、自己評価以上の高評価を頂いた半面、改善を求められる点は数多く残っています。ご指摘いただいた改善事項を真摯に受け止め、利用者への支援・サービスの質の向上に努めていきたいと思っております。</p>

⑥第三者評価結果（別紙）

（別紙）

第三者評価結果（母子生活支援施設）

共通評価基準（45項目）I 支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

<p>（1）理念、基本方針が確立・周知されている。</p>	<p>第三者評価結</p>
<p>① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念、基本方針が文書（事業計画等の法人・施設内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等）に記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念は、法人・施設が実施する支援の内容や特性を踏まえた法人・施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、母親と子どもへの周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p>	

理念及び基本方針は明文化されており、当施設の運営・支援に関して母親と子どもの権利擁護の視点を盛り込み母子生活支援施設の特徴を踏まえた具体的な内容となっており、職員にも周知されています。更に母親と子どもに周知するよう取り組むことに期待します。

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結	
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	C	2
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。		
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。		
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの数・母親と子ども像等、支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする母親と子どもに関するデータを収集するなど、法人・施設が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。		
	<input type="checkbox"/> 定期的に支援のコスト分析や施設入所を必要とする母親と子どもの推移、利用率等の分析を行っている。		
【コメント】			
運営者が地方自治体であるという特性により、同市担当課において社会福祉全体の情勢や地域福祉計画の動向のほか、支援のニーズ等について一定の把握がなされており、施設経営の安定性も見込まれています。今後、環境変化に適切に対応できる施設経営の維持につながるよう取り組むことに期待します。			
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	C	3
	<input type="checkbox"/> 経営環境や支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。		
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。		
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。		
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。		
【コメント】			
支援の内容、組織体制、施設の整備、職員体制、財務状況等の把握はなされているものの運営者が地方自治体であるという特性により、経営状況や改善すべき課題等について共有や周知は難しい側面が窺えます。			

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結	
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	C	4
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。		
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。		
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。		
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。		
【コメント】			
自治体全体としての中長期計画があり、また、当施設の単年度の事業計画は策定されているが、運営者が地方自治体であるという特性により当施設独自の中長期的なビジョンを明確にした事業計画は策定されていません。			

②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	5
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。		
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。		
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。		

【コメント】

単年度の事業計画は実行可能なものが策定されており職員にも周知が図られています。但し中長期的なビジョンを踏まえた事業計画は策定されていません。単年度の事業計画については単なる行事計画とならないよう例えば母子の支援目標や行事計画、研修計画等を定めて取り組むことが期待されます。

(2) 事業計画が適切に策定されている。

①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	c	6
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○	
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。		
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。		
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。		
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。		

【コメント】

事業計画は同市担当課職員及び施設の職員等が参画して作成されており、施設職員も理解されています。今後、事業計画について定められた時期と手順に基づいて評価できるよう取り組むことが望まれる。

②	7 事業計画は、母親と子どもに周知され、理解を促している。	c	7
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、母親と子どもに周知(配布、掲示、説明等)されている。	○	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や母親会等で説明している。	○	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、母親と子どもがより理解しやすいような工夫を行っている。		
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、母親と子どもの参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。		

【コメント】

行事計画の内容は母親と子どもに丁寧に説明し周知するよう努めています。理解が難しい母親や子どもの場合は、職員が個別に説明を行い理解を促しています。今後、事業計画がわかりやすいよう工夫し、施設運営への理解につなげていくことを期待します。

4 支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者評価結	8	
	①	8 支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		a
		<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく支援の質の向上に関する取組を実施している。		○
		<input type="checkbox"/> 支援の内容について組織的に評価(C: Check)を行う体制が整備されている。		○
		<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。		○
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○		

【コメント】

施設の職員は、支援計画に基づき母親及び子どもそれぞれと積極的なコミュニケーションを図りながら支援の実施につなげ、また同市担当課より評価を受け、分析・検討を体制化し、組織的に取り組んでいます。

②	9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○

9

【コメント】

自己評価及び第三者評価が定期的実施されており、職員間で共有し、改善課題については具体的に取り組む姿勢が窺えます。今後、改善計画を明確にして取り組むことが望まれます。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○

10

【コメント】

施設長は同市担当課の課長が就任し、その役割は明文化されており、施設職員にも周知されています。有事や不在時の場合においても適切に組織業務が管理できるよう体制を整備されています。

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

11

【コメント】

施設長は、児童福祉法や社会福祉法等の関係法令を十分に理解し、法令遵守への取り組みを積極的に実践しています。職員に対しても関係法令の周知に向け積極的に取り組んでいます。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
①	12 支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b

12

<input type="checkbox"/>	施設長は、支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
<input type="checkbox"/>	施設長は、支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
<input type="checkbox"/>	施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【コメント】

施設長は、施設職員から挙げられた支援の現状について評価しているほか、施設長研修に参加し、職員にも各種の研修や勉強会等へ参加する機会を設けています。施設の特性上施設長自ら業務等に積極的に参画していると言えますが、今後、施設長がより指導力を発揮して関わりを持ち取り組むことに期待します。

②	13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<input type="checkbox"/>	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
<input type="checkbox"/>	施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
<input type="checkbox"/>	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/>	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	

13

【コメント】

施設の理念や基本方針を踏まえた職員配置は適切であり、職員のシフトにも配慮した働きやすい環境づくりを行っています。定期的な面談や会議等を通じて職員の業務改善への意識を醸成しています。施設の特性上施設長自ら業務等に積極的に参画していると言えますが、今後、施設長がより指導力を発揮して関わりを持ち取り組むことに期待します。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	c
<input type="checkbox"/>	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
<input type="checkbox"/>	支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	
<input type="checkbox"/>	計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	
<input type="checkbox"/>	法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	
<input type="checkbox"/>	各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	

14

【コメント】

施設に基幹的職員が配置されるとともに職員への研修への参加や育成が適宜行われています。職員の配置基準は満たされているものの専門職の配置等の具体的な計画については立案されていません。専門職や加算職員(課題のある入居者へ職員をつける)の配置等、計画的に取り組むことが望まれます。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	c
<input type="checkbox"/>	法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。	
<input type="checkbox"/>	人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	○
<input type="checkbox"/>	一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	

15

- 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
- 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
- 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。

【コメント】

運営者が地方自治体であるという特性により、同市の人事基準に準じた管理がなされており、職員にも周知されています。今後、理念・基本方針に基づき「期待する職員像等」を明確にし取り組むことが望まれます。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような施設内の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	
	<input type="checkbox"/> 人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	

16

【コメント】

担当職員とも適宜連絡を取り、また、職員同士のコミュニケーションを図り、互いに協力しながらワークライフバランスに配慮した職場環境が整えられています。職員の意向にも配慮しながら働きやすい職場づくりに努めています。今後、より働きやすい職場となるよう具体的な取り組みを進めていくことが望まれます。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

17

【コメント】

具体的な人事考課制度や目標管理制度は導入されておらず、目標管理の仕組みが構築されているとは言えません。「期待する職員像」を明確にした上で職員一人ひとりがその役割と目標を設定し、その目標をもとに施設長が定期的に面談を行い、職員の考えやその方向性を把握しながら適切なアドバイスにつなげていくよう取り組むことが望まれます。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	c
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 現在実施している支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	

18

	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	
--	--	--

【コメント】

職員は保育士の専門職で、必要な研修等に関しては適宜参加されているものの、現状では具体的な研修計画に基づいた教育・研修が実施できているとは言えません。現場のニーズは日々変動していることを踏まえ、そのニーズに対応した研修計画に基づき研修を実施するとともに定期的な計画の評価・見直しが望まれます。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	c	
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○	
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。		
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。		
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。		
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○	

19

【コメント】

施設における職員の所持資格や研修受講状況等を明確にし文書として残されています。研修等の案内は職員に示され、適宜受講できるよう配慮されています。今後、職員の知識や技術などの習熟度に応じた研修へ参加できるよう配慮することが望まれます。

(4) 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c	
	<input type="checkbox"/> 実習生等の支援に関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。		
	<input type="checkbox"/> 実習生等の支援の専門職の教育・育成についてのマニュアルが整備されている。		
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。		
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。		
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。		

20

【コメント】

実習生等の受け入れマニュアルは整備されておらず、現在まで実習生の受け入れ実績はありません。今後、受け入れの要請があった場合を想定し、受け入れマニュアルを作成して基本姿勢を明文化し、実習プログラムを策定しておくことが望まれます。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

第三者
評価結

①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人・施設の理念や基本方針、支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。		
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。	○	
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。	○	
	<input type="checkbox"/> 法人・施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人・施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。		
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。		

21

【コメント】

第三者評価を定期的に受審し、その結果を公表しています。また、苦情に関する窓口を明確にし、必要に応じて外部の第三者委員にも相談できる体制を整えています。今後、施設の役割・使命に則し、子育てについての支援等、地域や関係機関への助言を通じて施設の情報を発信していくことが望まれます。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。	
	<input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	

22

【コメント】

同市の職務分掌に沿って権限と責任が明確になっており、職員にも周知されています。年に1回、同市の監査事務局による監査が行われています。経理状況については、同市財務規則に基づき適正に処理されています。

4 地域との交流、地域貢献

(1)	地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結
①	23 母親、子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設や母親と子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の母親と子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	<input type="checkbox"/>
	(母子生活支援施設) <input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	<input type="checkbox"/>

23

【コメント】

学校の友人が訪れた際には施設内の集会室での図書を開放するなど友人が気軽に立ち寄りやすいよう工夫されています。地域での子ども会活動や健全育成事業、母子会活動等に積極的に関わっていただけるよう支援されています。但し地域との関わりについて基本的な考え方を明文化するまでには至っていません。今後、地域への関わりを日頃から意識を持ってできるよう例えば地域との関わりについて基本方針に明文化するなど基本的な考え方を明記して取り組むことが望まれます。

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して母親と子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 学校教育への協力を行っている。	

24

【コメント】

これまでのところボランティアの受け入れはされておらず、ボランティア受け入れについて明文化された文書類は整備されていません。今後、ボランティアの受け入れについて検討したい意向が窺え、ボランティアの受け入れマニュアルを作成するほか、施設の特性を踏まえ、遵守事項については同意書を得るなど十分に準備し取り組むことを期待します。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の母親と子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、母親と子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	○

25

【コメント】

施設を取り巻く社会資源として、学校、医療機関、福祉事務所、保健センター、警察等、関係機関一覧表を電話番号も載せ作成し、分かりやすいようにしてあります。必要に応じて職員と会議等を行い情報を共有しながら学校や保育所、福祉事務所といった関係機関と適切に連携していることが窺えます。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 施設が有する機能を地域に還元している。	c
	<input type="checkbox"/> 施設のスペースを活用して地域住民との交流を意図した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。	
	<input type="checkbox"/> 施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 災害時の地域における役割等について確認がなされている。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。	

26

【コメント】

近隣の住民の方々との関わりもあり、施設の集会室を開放するなど地域交流に努め母子生活支援施設の存在について理解につなげています。今後、施設の専門的な知識や技術を地域にも還元できるよう施設の専門性や特性を活かし、困難な家庭の世帯を支えるための講習会や研修会を検討するなどの取り組みに期待します。

②	27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c
	<input type="checkbox"/> 施設の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業を実施することなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	

27

【コメント】

同市の担当課や福祉事務所等と連携し、様々な情報やニーズを把握しながら、必要に応じて学校関係や幼稚園、保育所、医師などと話し合い、地域の実情を考慮し取り組んでいます。支援が必要な方には一時保護の受け入れも実施しています。今後、例えば地域の子育て支援グループに施設の集会室を開放したり、地域の福祉ニーズを踏まえた子育て相談や研修活動を行うなど、施設の機能を地域に還元できるよう具体的な活動を行うことを期待します。

Ⅲ 適切な支援の実施

1 母親と子ども本位の支援

(1) 母親と子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結	
①	28 母親と子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	28
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、母親と子どもを尊重した支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。		
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。		
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。		
【コメント】			
職員は全国母子生活支援施設協議会倫理綱領及び施設の理念・基本方針に基づき母親と子どもを尊重した支援に努めています。母親と子どもへの最善の利益の追求を図るようその関わりは職員間で共通意識を持って取り組まれています。今後、母親と子どもに対し基本的人権への配慮について勉強会や研修会を実施するなどの取り組みが望まれます。			
②	29 母親と子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した支援の実施が行われている。	c	29
	<input type="checkbox"/> 母親と子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。		
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。		
	<input type="checkbox"/> 母親と子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、母親と子どものプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。		
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの母親と子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、母親と子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもにプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。		
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいた支援が実施されている。		
	<input type="checkbox"/> 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。		
【コメント】			
世帯ごとに独立した居室となっており、職員が居室へ立ち入る場合については、基本的に事前に説明した上で行っており、プライバシーに配慮しています。尚、母親と子どもへのプライバシーは遵守されていますが、その過程を明記した規程・マニュアル類については文書化されていません。今後、母親と子どもへのプライバシー保護に関しての規程・マニュアルを整備し取り組むことが望まれます。			
(2) 支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。			
①	30 母親と子どもに対して支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a	30
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	○	
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	○	

<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の母親と子どもについては、個別に丁寧な説明を実施している。	○
<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子どもに対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○

【コメント】

入所時には「わかばのしおり」と共に理念・基本方針を文書にして示し、子どもの状況によっては、母親と一緒に説明を聞いてもらうなどその内容を丁寧に説明するよう配慮しています。要望に応じて施設見学も柔軟に応じています。

②	31 支援の開始・過程において母親と子どもにわかりやすく説明している。	b
	<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程における支援の内容に関する説明と同意にあたっては、母親と子どもの自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程においては、母親と子どもがわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 説明にあたっては、母親と子どもが理解しやすいような工夫や配慮を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程においては、母親と子どもの同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な母親と子どもへの配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	

31

【コメント】

職員は入所段階において「わかばのしおり」に記載されている「日常生活のきまり」について説明し、利用者の負担や苦情窓口等諸規則の説明がなされ、スムーズな支援の開始となるよう努めています。入所時に母親や子どもの希望や意見を聴きとり、支援内容について同意を得て、自立に向けた支援計画が立案されています。今後、本人が説明を受ける事が困難な方などへの配慮についてはその支援過程をルール化して取り組むことが望ましい。

③	32 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり支援の継続性に配慮した対応を行っている。	c
	<input type="checkbox"/> 支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として母親と子どもが相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、母親と子どもに対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	

32

【コメント】

施設では、退所後も母親と子どもが相談できる窓口を説明しています。また、退所者支援計画を策定し、退所後も継続した支援に努めています。退所者が来所した際には来所時の状況を記録し、退所後の生活の状況把握に努めています。今後、アフターケアへの支援の継続について具体的な手順を明確にできるよう例えばアフターケアのしおりを整備するなど、今後の取り組みが望まれます。

(3) 母親と子どもの満足の向上に努めている。

第三者
評価結

①	33 母親と子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	c
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもへの個別の相談面接や聴取等が、母親と子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、母親と子どもの満足を把握する目的で、母親と子ども会等に出席している。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、母親と子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	

33

【コメント】

半年に1回、母子との面談を通じて自立支援計画の実践状況や目標について話し合い、支援等について満足しているかを把握するようにしています。今後、より一層支援の質の向上につなげる為にも満足度調査を行い、その満足を把握する仕組みとして整備する事が望まれます。

(4) 母親と子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を母親と子どもに配布し説明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、母親と子どもが苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策については、母親と子どもに必ずフィードバックしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た母親と子どもに配慮したうえで、公表している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	<input type="checkbox"/>

34

【コメント】

入所時に苦情受付窓口及び苦情解決責任者のほか外部の第三者委員についても母子へ説明すると共に文書でも配布を行っています。また、メッセージボックスを設け日頃からの意見や要望を気軽に申し出できるように工夫されています。毎月1回懇談会を実施し、苦情や要望等に対応した結果を報告しています。

②	35 母親と子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、母親と子どもに周知している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	<input type="checkbox"/>

35

【コメント】

職員は母親と子どもに対して意見が言いやすい環境を整えるよう努め、気軽に相談できるよう声をかけたりしながら本人の気持ちに寄り添い、必要に応じて相談室にて個別の相談にのるなど、本人のプライバシーにも配慮しながら取り組んでいます。施設以外の相談窓口に関しても掲示して相談がしやすいよう配慮されています。

③	36 母親と子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の支援の実施において、母親と子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、母親と子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	

36

【コメント】

職員は母親や子どもが相談しやすいよう声をかけ、相談があった場合はその内容を記録に残し職員間で情報を共有するよう努めています。また、母子へのアンケートを定期的実施して意見の把握に努めています。職員は共通意識を持って相談に応じていますが、相談や意見にへ組織的に対応するためのマニュアルを作成するまでには至っていません。今後、当施設の専門性を踏まえた対応マニュアルを作成することが望まれます。

(5) 安心・安全な支援の実施のための組織的な取組が行われている。

第三者
評価結

①	37 安心・安全な支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	c
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	

37

【コメント】

施設は老朽化しているものの設備は定期的に業者による点検が行われています。また、職員による要所の安全点検も行われています。尚、リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備するまでには至っていません。今後、母親と子どもへの安心・安全な支援への取り組みとしてリスクマネジメント体制を整備する事が望まれます。

②	38 感染症の予防や発生時における母親と子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。	

38

【コメント】

保育園等感染症マニュアルを作成し、手洗い、うがいの励行のほか、発症した場合は感染症に関する対応方法等について文書を配布や感染症発生状況について懇談会やホワイトボードを活用し母子へ注意喚起とともに職員間でも知識を深め、感染症への予防に努めています。今後、感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直し取り組むことが望まれます。

③	39 災害時における母親と子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、支援を継続するために必要な対策を講じている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。	○

39

【コメント】

年一回の消防署と連携した総合避難訓練(消化・通報・避難)のほか、風水害を想定した訓練を行っています。今後、備蓄リストを作成して備蓄を明確にし、管理者や消費期限を決めて食料や備品類等を整備する事が望まれます。

2 支援の質の確保

(1) 支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結	
①	40 支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されている。	c	40
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。		
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、母親と子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。		
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。		
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。		

【コメント】

職員は勤務経験も永く標準的な支援方法は周知されていますが、文書化するまでには至っていません。今後、理念及び基本方針に基づき、自立支援計画の策定マニュアルやアセスメント手順や様式のほか保育支援マニュアルや相談対応マニュアルなど各種業務マニュアルを整備し、標準的な実施方法を文書化することが望まれます。

②		41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c	41
	<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。			
	<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。			
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。			
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や母親と子どもからの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。			

【コメント】

母子への支援については半年ごとに面接を行い、支援内容を確認し自立計画に反映しています。尚、標準的な実施方法が文書化されていない為、その見直しをする仕組みが確立しているとは言えません。各種業務マニュアルを整備した後は定期的に検証・見直しを行い、見直した際には改定履歴を残すなど、仕組みを整備する事が望まれます。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。			
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b	42
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○	
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。		
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。		
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、母親と子ども一人ひとりの具体的なニーズが明示されている。	○	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、母親と子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。		
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○	
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な支援が行われている。		

【コメント】

自立支援計画策定の責任者として基幹的職員を置き、母親と子どもへの面接と聞き取りに加え、同市担当課や福祉事務所等から情報を得て母親と子どもひとりひとりの自立支援計画を策定しています。アセスメントを通じて母親と子どものニーズや希望の把握に努め、達成できる目標を設定し計画に基づく支援に努めています。今後、母親や子どもへのアセスメント手順と様式を明確にし、状況に応じて臨床心理士等を活用したインテーク面接を行うなど、母子の身体状況や生活状況に沿えるようアセスメント手法を整備する事が望まれます。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、母親と子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

43

【コメント】

自立支援計画の見直しにあたっては担当職員がこれまでの支援内容や課題等について意見交換した上で同市担当課職員（班長）にも図り、母親や子どもに支援内容を説明し同意を得て進めています。また、緊急に自立支援計画の変更が必要な場合でも同様な手順で変更が行われています。今後、自立支援計画の見直しについて、時期、検討会議の参加職員、母親と子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて取り組むことが望まれます。

(3) 支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 母親と子どもに関する支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	b
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

44

【コメント】

自立支援計画には母親と子どもそれぞれの目標を設定しています。職員は母親や子どもの主体性を尊重しながら本人が達成につながる支援に努めています。母親と子どもについての記録は、ケース記録や児童記録に残されており、母親と子どもの現状や状況の変化、支援の実施状況等、日々の情報が記録されています。今後も引き続き職員間や部門横断での情報共有への取組みに期待します。

②	45 母親と子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、母親と子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、母親と子どもに説明している。	○

45

【コメント】

記録管理の責任者は当該施設長が行い、記録類は担当職員、担当課班長、施設長（担当課長）が閲覧の際に押印して確認する体制を整えている。同市における個人情報保護規程等が適用され、記録類等の保存や廃棄についての取扱いについて情報漏えいしないよう対策を講じています。今後、職員に対しての教育や研修の機会を設けて取り組むことが望まれます。

内容評価基準（28項目） A-1 母親と子ども本位の支援

(1) 母親と子どもの尊重と最善の利益の考慮		第三者 評価結	
①	A1 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の支援において実践している。	b	A1
	<input type="checkbox"/> 支援の内容が母親と子どもにとって最善の利益になっているか、振り返り検証する機会が設けられている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの個人を尊重し、母親と子どもの希望や意見に可能な限り応えている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 人権に配慮した支援を行うために、職員一人一人の職業倫理並びに職員としての職務及び責任の理解と自覚を持っている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 施設全体の質の向上を図るため、職員一人一人が、実践や研修を通じて専門性を高めるとともに、実践の内容に関する職員の共通理解や意見交換を図り、協働性を高めている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 職員どうしの信頼関係とともに、職員と子ども及び職員と母親との信頼関係を形成していく中で、常に自己研鑽に努め、喜びや意欲を持って支援に当たっている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 受容的・支持的なかかわりを基本としながら母親と子どもの状況に応じて適切な対応ができるよう、常に母親と子どもの利益を考慮し真摯に向き合っている。	<input type="checkbox"/>	
【コメント】 施設は全国母子生活支援施設協議会倫理綱領をもとに社会的擁護に関する職員の共通理解を図り、職員会議やケース記録で支援の内容が母親と子どもにとっての最善の利益になっているか振り返り検証を行っています。職員は日頃から職員間や入居者とコミュニケーションを多く取ることを心がけ、支援方針や対応方法について共通認識を持った関わりに努めています。母と子の信頼関係の構築や個々の意向を尊重しながら状況に応じて適切な対応ができるよう努めていますが、現在研修等の学びの機会が少ない状況にあるため、臨機応変に対応ができるよう今後職員スキルをさらに高める取り組みに期待します。			
(2) 権利侵害への対応			
①	A2 いかなる場合においても、職員等による暴力や脅かし、人格的辱め、心理的虐待、セクシャルハラスメントなどの不適切なかかわりが起こらないよう権利侵害を防止している。	a	A2
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合を想定し、施設長が職員と利用者の双方に事実確認や原因の分析等を行うことや「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがとられている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの起こりやすい状況や場面について、具体的な例を示しながら、研修や話し合いを行い、職員による不適切なかかわりを行わないための支援技術を習得させている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの禁止を職員等に徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 職員からの暴力や言葉による脅かしなどの、不適切なかかわりが発生した場合に対応するためのマニュアル等を整備し、規程に基づいて厳正に対応している。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりや暴力を見たり聞いたりしたら、管理者等に報告することを義務付けている。	<input type="checkbox"/>	
	【コメント】 母親や子どもの権利が侵害されないよう、日頃の話し合いにおいて母親や子どもへの関わり方が不適切なものとなっていないか確認や振り返りの機会が持たれています。専門性を深める研修を受ける機会が少なく、具体的な支援技術の習得に苦慮している現状にあります。子育て応援講演会など子どもの関わり方について講演会に参加し、学びの機会と捉え実践に繋げるよう努めています。地方公務員法や市の条例に基づき、職員の不適切な行為があった際には法令に沿って厳重に処分される仕組みが整備されています。		
②	A3 いかなる場合においても、母親や子どもが、暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切な行為を行わないよう徹底している。	a	A3
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止について、具体的な例を示して、母親と子どもに周知している。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為に迅速に対応できるように、母親と子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	<input type="checkbox"/>	

<input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことの確認や職員体制の点検と改善を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 不適切な行為を伴わない人とのかかわりについて、母親や子どもに伝え、良好な人間関係の構築を図っている。	○

【コメント】

職員は日頃から入居者と関わりを多く持つことを心がけ、親子が良好な関係を保てるよう小さな変化に注意を払い支援に努めています。日常生活において入居者同士がトラブルにならないよう関係性に配慮し、職員は入居者間の仲介役となりながら小さな変化に注意を払うようにしています。子どもには絵本や紙芝居を利用しながら、相手の気持ちが理解しやすいようわかりやすく伝え、やさしさや思いやりを育てるよう努めています。

③ A4 子どもに対する暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b	A4
<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりに迅速に対応できるように、子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	○	
<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識・具体的方法について学習する機会を設けている。		
<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりを伴わない子育てについて母親に伝え、良好な親子関係の構築を図っている。	○	
<input type="checkbox"/> 常に親子関係の把握に努め、適切な助言や支援を行っている。	○	

【コメント】

母親には日頃の関わりの中から親子の関係性について注意を払い、子供への不適切な関わり防止について取り組んでいます。必要に応じて子育てについてのアドバイスを伝え、親子の良好な関係を保てるよう働きかけがなされています。今年度は職員が母親とともに子育て応援講演会に参加し、子どもの将来を幸福にする子どもの関わり方について学ぶ機会を持ちました。日常の中で子どもが他人に対する接し方について話をする機会がありますが、定期的な学習の機会には至っておらず、不適切な関わりの防止について改めて学習する機会を設ける取り組みが望まれます。

(3) 思想や信教の自由の保障

① A5 母親と子どもの思想や信教の自由を保障している。	a	A5
<input type="checkbox"/> 施設において宗教的活動等を強要していない。	○	
<input type="checkbox"/> 個人的な宗教活動等は尊重している。	○	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの思想や信教の自由については、最大限に配慮し保障している。	○	
<input type="checkbox"/> 母親の思想や信教によって、その子どもの権利が損なわれないよう配慮している。	○	

【コメント】

施設での「日常生活のしおり」内に信仰の自由を示し、思想良心、宗教の自由を保障しています。職員は入居者の思想はそれぞれに違うことを理解しながら個々の考えを尊重し、入居者の意思を最大限に尊重するように努めています。個々が拝礼や参拝等の制限は設けていませんが、施設内において、他の入居者に影響を及ぼすような勧誘等の活動にならないよう職員は注意を払っています。

(4) 母親と子どもの意向や主体性の配慮

① A6 母親や子どもが、自分たちの生活全般について自主的に考える活動（施設内の自治活動等）を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	a	A6
<input type="checkbox"/> 子ども自身が自分たちの生活全般について、自主的・主体的な取組ができるような活動（施設内の自治会活動等）を母親の理解のもとで実施している。	○	
<input type="checkbox"/> 子どもが問題や課題について主体的に検討し、その上で取組、実行、評価するといった内容を含んだ活動を母親の理解と協力のもと実施している。	○	
<input type="checkbox"/> 活動を通して、子どもの自己表現力、自律性、責任感などが育つよう必要な支援をしている。	○	

<input type="checkbox"/> 母親が自らの権利を学び、自主的に自分の生活を改善していく力を養えるよう支援している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 母親の自治会活動等を通して、母親の自己表現力、自律性、責任感などに対する支援を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設では月1回の懇談会を開催し、行事や施設での過ごし方等新たなルールを決めたり他の家族との調整を図ったりする機会を設けています。母親同士の懇談会と子ども同士の懇談会を同じ日に別室で開催し、母親、子どもそれぞれの立場で課題を解決していく体制づくりがなされています。母親の意見と子どもの意見をだし合うことで、現在の環境に合わせた過ごし方のすり合わせを行う機会となり、子どもたちが自分達で意見を出しながら互いのことを考えることに繋がっています。ゲームや過ごし方の決まりなど、自分達で決めたルールだからこそ、自分達で守るという意識づけに繋がっています。

(5) 主体性を尊重した日常生活

① A7 日常生活への支援は、母親や子どもの主体性を尊重して行っている。	a	A7
<input type="checkbox"/> 母親や子どもの自尊心や強みを大切に支援を行い、自己肯定感が回復し高まるような支援を行っている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもに対してストレングスの視点に基づいて、エンパワメントしていく支援を行っている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 常に母親と子どもの主体性を尊重した支援を通して、その人が力を発揮できるよう支援を行っている。	<input type="radio"/>	

【コメント】

施設では、入所する際に母と子の自立を促進した生活を支援することを目的としていることを伝え、それぞれに目標を持ちながら生活ができるよう支援がなされています。自立支援計画の目標は必ず本人が取り組めるものを設定し、職員は母親や子どもの主体性を尊重しながら個々の持つ力が発揮できるような支援に努めています。母親については就労など必要に応じて社会資源の活用につなげ、情報提供しながら将来の希望などに繋げる取り組みがなされています。

② A8 行事などのプログラムは、母親や子どもが参画しやすいように工夫し、計画・実施している。	a	A8
<input type="checkbox"/> 母親や子どもが施設での生活を楽しめるような企画を用意している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの主体的な参画を前提とした行事・プログラムを用意している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 母親向けのプログラムでは、母親が安心して参加し楽しめるように、保育などのサポートを行っている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 母親や子どもの状況を考慮し、参加しやすいように内容・時間等を工夫している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 行事等の実施後に、評価を行い次回の実施につなげている。	<input type="radio"/>	

【コメント】

年頭に今年度の行事についての話し合いを行い、行事の目的や趣旨、内容を伝えながら入居者が参加しやすい行事に繋がるよう支援に努めています。年1回のバス旅行や親睦を兼ねた食事会では、母親の労をねぎらうとともに親子で楽しめる会となるよう、行きたい場所を入居者が話し合いの上決定し、配慮されています。夏休みや冬休み等長期休暇の際には子どもたちで過ごし方を話しあい子ども同士の交流が図られています。行事の実施後の懇談会で、職員は行事についての感想を集約し、次の行き先や入居者に沿った支援に繋がるよう努めています。

(6) 支援の継続性とアフターケア

① A9 母親と子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所後の支援を行っている。	a	A9
<input type="checkbox"/> 退所後の支援が効果的に行われるよう、退所後の支援計画を作成している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 退所した地域で安定して暮らすために、必要に応じて退所先の行政機関をはじめ、多様な地域の関係機関や団体とネットワークを形成し、母親と子どもが適切な支援が受けられるようにしている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 退所後も電話や来所によって施設に相談できることを母親と子どもに説明し、生活や子育て等の相談や施設機能を活用した(学童保育・学習支援・施設行事への招待等)支援を提供している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 退所後の生活が安定していることを確認するための往訪や架電等の取組を行っている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 必要に応じて退所先に往訪し、介助や同行・代行等の支援を行っている。	<input type="radio"/>	

【コメント】

施設では、退所者支援計画を策定し、生活問題を抱えたまま孤立や問題が重篤化しないよう退所後も継続した支援に努めています。入居者には退所後も自由に連絡や訪問が可能であることを伝え、個々の状況に配慮しながら要望に対して必要な情報を提供するように努めています。施設は母子アパートの利用につなげ、また電話や来所によって退所者の経済面、生活面、子どもの状況等を確認し、退所後の生活が安定していることを把握しながら必要に応じて適切な関係機関へ相談できるよう支援がなされています。退所者来所記録簿や業務日誌に来所時の状況を記録し、退所後の生活の状況把握に努めています。

A-2 支援の質の確保

(1) 支援の基本		第三者 評価結	
①	A10 母親と子どもそれぞれの個別の課題に対応して、専門的支援を行っている。	a	A10
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもがそれぞれ抱える個別の課題に対して、目的や目標を明確にし計画的で一貫した専門的支援を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの課題を正しく理解し、親子・家庭のあり方を重視した支援を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが、自己の意思で課題を解決できるように個々の気持ちに寄り添った支援を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 資料等を使いながら、必要な手続きをわかりやすく説明し、必要に応じて職員が機関等への同行及び代弁を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 専門的な支援を行うために、その支援に必要な資格や経験等を考慮した職員を配置し、職員間で連携・協議を行っている。	○	
【コメント】			
職員は日常生活での会話を通してアセスメントを実施し、母親と子どものそれぞれが抱える課題を明確にしなが、解決に向けた支援が実践できるよう努めています。自立支援計画における経過記録や半年に1回の面談を通して現状を把握し、母親と子どもが抱える課題を理解しながら専門機関と連携をとり対応しています。面談や日頃の関わりの中で母親と子どもの不安や相談に寄り添いながら、その人に応じた支援に繋げ、制度の利用等の資料を手元に示しながら自己選択、自己決定ができるよう寄り添いながら支援がなされています。			
(2) 入所初期の支援			
①	A11 入所に当たり、母親と子どもそれぞれのアセスメントに基づき、生活課題・ニーズを把握し、生活や精神的な安定に向けた支援を行っている。	a	A11
	<input type="checkbox"/> 入所直後は心理的に不安になりやすいため、信頼関係の構築に心がけ、心の安定に向けた相談支援に努めている。	○	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが安心して施設を利用し、課題の解決に向かえるように、関係機関等と連携して情報提供に努めている。	○	
	<input type="checkbox"/> 子どもが保育所・学校に速やかに入所・通学できるよう支援している。	○	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、生活用具・家財道具等の貸し出しを行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 居室は、母親と子どもが生活するために必要な十分なスペースが確保され、プライバシーに配慮したものとなっている。	○	
	<input type="checkbox"/> 身体に障害のある母親や子どもに対しても、安全に生活ができるように配慮している。	○	
【コメント】			
施設では、施設入所までの受け入れ手順を定め、受理面接表を確認しながら母親と子どもの状況を確認し施設での生活にスムーズに移行できるよう配慮しています。母親の生活が落ち着くまでは子どもが通う小学校への手続きや、その人に応じた保育園を選ぶための資料を準備し、共に付き添い検討しています。身体に障がいがある家庭については身体の状態に応じて利用しやすい部屋の位置を選択し、負担なく過ごすことができるよう対応しています。生活のしおりには日常生活の決まりを示し、また新しい環境に馴染むまでは生活用品の貸し出しや家財道具の貸し出しもあり、安心して生活が送れる環境を提供しています。			
(3) 母親への日常生活支援			
①	A12 母親が、安定した家庭生活を営むために必要な支援を行っている。	a	A12
	<input type="checkbox"/> 生活経験に乏しい母親には、職員と共に行うことで経験を補う等の支援を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 心やからだの健康に不安を持つ母親には、相談に応じたり、医療機関への受診を促したりするとともに、栄養管理等の食生活への支援を行うなど、ニーズに応じた健康管理のための支援を行っている。	○	

<input type="checkbox"/> 必要に応じて、衣服の清潔保持や入浴など、気持ちよく暮らすために必要な衛生面への支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 経済的に安定した生活を送るために、必要に応じて家計の管理、将来に向けた貯蓄等の相談や支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 支援の必要性やニーズに応じて、家事・育児等、日常生活全般について、代行や介助等の支援を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設は、母親の成育歴やこれまでの生活のスキルを踏まえ、基本的な生活習慣の確立や家事支援、養育相談、経済面の相談を行っています。健康面の把握のため年2回の健康相談を実施し、必要に応じて受診の付き添いなど母親の安心や不安の軽減など適切に対応できるよう支援に努めています。自立支援計画書の作成時には将来設計を共に考え、就労や制度の利用など経済的に安定した生活が送れるように努めています。母親の勤務状況や体調面を考慮しながら、依頼に応じて補完保育や病児保育、家事支援等相談に応じ、心身ともに安心した生活ができるよう支援に努めています。

②	A13 母親の子育てのニーズに対応するとともに、子どもとの適切なかわりができるよう支援している。	a	A13
	<input type="checkbox"/> 母親の育児に関する不安や悩み等の発見に努め、その軽減に向けた相談や助言、介助等を行うとともに、必要に応じて保育の提供や保育所へつなぐ等の支援を行っている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 母親の状況に応じ、子どもの保育所・学校等への送迎の支援を行っている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 母親が子どもを客観的に理解できるように、発達段階や発達課題について示し、適切な子育てやかかわりについてわかりやすく説明している。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 虐待や不適切なかわりを発見した時は職員が介入し、必要に応じて専門機関との連携を行っている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもが通う保育所や学校と連携している。	<input type="checkbox"/>	

【コメント】

職員は、母親とのコミュニケーションの機会を持ちながら育児が苦手な母親の気持ちに寄り添い、子育てに対する不安や悩みのほか虐待や不適切な関わり等の早期発見に努めています。母親の状況に応じて補完保育や保育園への送迎の支援を行うとともに、学校や保育園と子どもの状況についての情報交換を行いながら職員が子どもの育ちに関わり支援に努めています。年齢別に発達の目安となる資料を準備し、離乳食の過程や発達段階を共通理解しながら共に子育てする姿勢で関わりを持っています。放課後や長期休暇中など職員が学習指導や見守りを行いながら、親子が穏やかに過ごせるよう要望に応じています。

③	A14 母親が安定した対人関係を築くための支援を行っている。	b	A14
	<input type="checkbox"/> 母親が職員とつながっていることを実感できるよう、様々な場面で気軽に声をかけたり、相談に応じるなどの取組を行っている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 施設を自分の居場所として感じられるように、母親どうしが集うための機会や場を設け、交流を促すなど、関係づくりのための支援を行っている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 対人関係がうまくできない母親には、母親のペースに合わせた関係性の構築に配慮を行っている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 社会との関係をとることの難しさから対人関係にストレスを生じている場合は、そのストレスの軽減が図られるよう、心理療法を行ったり相談に応じたりしている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 施設内の他の母親や子どもとの間でトラブルが生じたときに、その関係性を修復もしくは改善するための支援を行っている。	<input type="checkbox"/>	

【コメント】

職員は日々母親と関わりを持つことで信頼関係を築き、他人とのつながりを実感することで安定した対人関係や自分の居場所を得ることができるよう支援に努めています。対人関係が苦手な母親については、その思いを理解しながら他の入居者との関わりを無理強いないで、自然な形で生活に溶け込むよう職員が仲介役を担いながら支援に努めています。心理療法士等専門的な職員の配置はないものの母親のストレスが職員だけでは対応できないと判断した場合は他機関との連携を取り、母親の安定や自立するための支えとなる関係作りに努めています。

(4) 子どもへの支援

①	A15 健やかな子どもの育ちを保障するために、養育・保育に関する支援を行っている。	b	A15
	<input type="checkbox"/> 子どもの成長段階、発達段階に応じた養育支援を行っている。	<input type="checkbox"/>	

<input type="checkbox"/> 放課後の子どもの生活の安定や活動を保障し、活動場所、プログラム等を用意するとともに、日常生活に必要な知識や技術の伝達、遊びや行事等を行っている。	
<input type="checkbox"/> DVを目撃した子どもを含め、被虐待児等や発達障害を含む様々な障害等の特別な配慮が必要な子どもに対しては、必要に応じて個別に対応し、子どもの状況に応じた支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 母親のニーズや状況に応じて、施設内の保育支援や保育所への送迎、通院の付き添いなどの支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設内における養育・保育に関する記録を整備し、支援に役立てている。	○

【コメント】

施設は季節ごとの行事を積極的に取り入れながら、子どもらしくのびのびと生活ができるよう養育や保育の支援に努めています。5月の母の日には母親の手伝いや手作りプレゼントを準備し親子の思いや喜びを共有しています。また放課後は小学生が図書室で宿題に取り組み、母親の勤務状況に応じて保育園の送迎や病児保育を実施するなど母親が安心して保育ができるような体制が整っています。DVを目撃した子どもを含め、被虐待児童等特別な配慮が必要な子どもについては、子ども虐待対応マニュアルを参考にし、その子どもに応じた関わり方等支援体制が整っています。

②	A16 子どもが自立に必要な力を身につけるために、学習や進路、悩み等への相談支援を行っている。	b	A16
	<input type="checkbox"/> 落ち着いて学習に取り組める環境を整え、年齢に応じた適切な学習支援を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 学習の習慣を身につけるとともに、学習への動機づけを図っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 進学や就職への支援について、母親と子ども双方の意向をくみ取り、学校と連携して情報提供を行いながら、具体的な目標を定めている。	○	
	<input type="checkbox"/> 学費の負担軽減のため、各種の奨学金や授業料の減免制度等の活用への支援を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 学習指導のために学習ボランティア等の協力を得ている。		
	<input type="checkbox"/> 子ども一人一人の個性を重視した相談・支援を行っている。	○	

【コメント】

小学生以上の子どもは放課後図書室で宿題を済ませるなど、職員の声かけや見守りによって学習づける工夫がなされています。子どもの進路状況についてはケース記録や自立支援計画を活用し、児童記録とともに学校の学習状況や理解度を把握しながら個別性を重視した対応がなされています。現在受験や就職などの意向を持った子どもの在籍はありませんが、該当する子どもがいる場合には母親や子供と話し合いをしながら奨学金や授業料の減免など各制度の情報提供を行い活用につなげています。職員は学習ボランティアの協力を得たいとの考えを持っていますが、協力者が繋がらない悩みがあり、人的な環境整備が望まれます。

③	A17 子どもに安らぎと心地よさを与えられるおとなのかかわりや、子どもどうしのつきあいに配慮して、人との関係づくりについて支援している。	b	A17
	<input type="checkbox"/> 母親以外のおとなにも受け入れられたり、甘えられたりする経験を増やし、おとなとの信頼関係が構築できるよう支援している。	○	
	<input type="checkbox"/> ボランティアや実習生など、様々なおとなとの出会いの機会を設け、多様な価値観、生き方への理解をすすめている。		
	<input type="checkbox"/> 悪意や暴力のないおとなモデルを提供することで、おとなに信頼感を持てるよう支援している。	○	
	<input type="checkbox"/> 自分の気持ちをことばで適切に表現し相手に伝えることについて、日常生活の中でその方法を意識的に伝え、その能力が向上するよう支援している。	○	
	<input type="checkbox"/> 専門的なプログラムに基づいたグループワークを積極的に取り入れている。		

【コメント】

施設に隣接してシルバー人材センターの事務局もあることから、子ども達は日常的に隣近所の方から声をかけて頂ける環境にあります。職員はふれあいの機会を意識しながら近隣の方との関わりを大事に捉え、共に過ごす中で声のかけ方や接し方の手本となるよう努めています。子どもたちは地域の高齢者世帯の犬の散歩の手伝いを担うなど、相手から喜んでもらう経験にも繋がっています。様々な人と関わりながら挨拶の仕方やお菓子を頂いた時のお礼など、生活の中で母親以外の子ども時の大人との関わり方を身近に学んでいます。現在ボランティアの受け入れはありませんが、今後検討していきたいと考えています。

④	A18 子どもの年齢・発達段階に応じて、性についての正しい知識を得る機会を設け、思いやりの心を育む支援を行っている。	b	A18
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に正確な知識を持って応えている。	○	
	<input type="checkbox"/> 職員間で性教育に関する知識や、性についてのあり方などの学習会を行っている。		
	<input type="checkbox"/> 年齢、発達段階に応じて、性についての正しい知識、関心が持てるよう支援している。	○	
	<input type="checkbox"/> 年齢に応じた性教育の計画があり、正しい性知識を得る機会を設けている。		
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性教育のあり方について学習会などを職員や子どもに対して実施している。		

【コメント】

現状は専門経験のある支援学校から講師を招くなど研修の機会を設けておらず、性についての学びの機会は学校や保育園等の指導に任せる現状にありますが、必要に応じて職員が子どもに関わりを持って行うようにしています。現在3年生くらいまでの子どもを対象とした資料を手元に準備しており、職員は子どもが疑問に思った時や必要な時に話ができるような体制を整えています。日頃の支援の中で大人と子どもが自分の大切さを知り、自由と安心、自信を持ちながら前向きに生きていくよう声かけし取り組んでいます。今後、職員間で性の在り方について検討し、学習会を設けるなど等の取り組みに期待します。

(5) DV被害からの回避・回復

①	A19 母親と子どもの緊急利用に適切に対応する体制を整備している。	b	A19
	<input type="checkbox"/> 緊急時に備えて、夜間でも対応できる体制を構築している。	○	
	<input type="checkbox"/> 24時間の受け入れや広域利用など、広く母親と子どもの緊急利用を受け入れている。		
	<input type="checkbox"/> 役割分担と責任の所在を明確にし、配偶者暴力相談支援センター・警察署・福祉事務所等との連絡調整体制を整えている。	○	
	<input type="checkbox"/> 緊急時対応マニュアルを作成・整備している。	○	
	<input type="checkbox"/> 緊急利用のための生活用品等を予め用意している。	○	

【コメント】

施設はDV被害者支援のために体制を整え、危険度が重篤な場合にはその方が安心できる場所での受け入れを検討し、広域入居者の受け入れを始めDVセンター、警察署、福祉事務所等と連携を図りながら情報共有が図られています。入居者を受け入れる際は行政の窓口で関係機関と調整を図り、また防犯対策マニュアルを整備しながらDV被害者の安全を最優先に考え緊急利用を広く受け入れるよう努めています。緊急利用のための生活用品や居室を準備し、安全に、安心して身を守ることができるよう支援に努めています。今後、24時間受け入れ体制の整備が望まれます。

②	A20 母親と子どもの安全確保のために、DV防止法に基づく保護命令や支援措置が必要な場合は、適切な情報提供と支援を行っている。	a	A20
	<input type="checkbox"/> 保護命令制度や支援措置・DV相談証明の活用について、情報提供を行うとともに、必要に応じて法的手続きのための同行等の支援を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 弁護士や法テラスの紹介や調停・裁判などへの同行等、さらに必要に応じて代弁等の支援を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> DV加害者に居所が知れ、危険が及ぶ可能性がある場合には、母親と子どもの意向を確認した上で、速やかに関係機関と連携し、保護命令の手続きや他の施設への転居等の支援を行っている。	○	

【コメント】

第3次長崎県DV対策基本計画に沿って関係機関と連携し、被害を受けた母親と子どもに対しては、柔軟かつ必要に応じた支援がなされています。年度当初に不審者への対応についてマニュアルの確認を行いながら不審者対応の流れを再度周知し、フロチャートに沿った訓練を行いながら安全管理に対する意識を高めるよう取り組んでいます。母子の安全確保について関係機関と協議しながら安全確保に向けた体制づくりがなされています。行政の窓口と連携しながら、法律的な専門知識に基づいて安全な生活の実現に向けた取り組みがなされています。

③	A21 心理的ケア等を実施し、DVの影響からの回復を支援している。	b	A21
	<input type="checkbox"/> DVについての正しい情報と知識を提供し、DV被害者の理解を促し、自己肯定感を回復するための支援を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> DVから脱出することができたことを評価し、安心し安定した生活と幸せな未来について、職員と一緒に考え支援することを伝えている。	○	
	<input type="checkbox"/> 心理療法を活用し、医師やカウンセラーと情報交換を行いながら、より適切な支援を行っている。		
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、自助グループや外部の支援団体等の紹介を行っている。		

【コメント】

職員は日々母子と関わりを持ち、その方の心情の理解に努めながらDVの影響からの回復の支援に繋がっています。自立支援計画書やケース記録に記録を取りながら職員間で心身の状況を把握し心のケアに努めています。必要に応じて専門機関の紹介や同行支援を行いながらより専門性を持ったケアを行うよう努めています。自助グループや外部の支援団体等が近隣になく、紹介に至っていない現状にありますが、必要に応じて関係機関を通してDV被害に関する支援団体の情報提供を行うよう努めています。

(6) 子どもの虐待状況への対応

①	A22 被虐待児に対しては虐待に関する専門性を持ってかわり、虐待体験からの回復を支援している。	c	A22
	<input type="checkbox"/> 暴力によらないコミュニケーションを用いるおとなのモデルを職員が示している。	○	
	<input type="checkbox"/> 子どもと個別に関わる機会を作り、職員に自分の思いや気持ちを話せる時間を作っている。		
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえない大切な存在であることを伝えることや、感情表現を大切にすることで、自己肯定感や自尊心の形成に向けた支援を行っている。		
	<input type="checkbox"/> 医療機関や児童相談所などの関係機関と必要な情報の交換を行いながら、より適切な支援を行っている。		
	<input type="checkbox"/> 心理療法担当職員によるカウンセリング等の専門的ケアを実施している。		
	<input type="checkbox"/> 被虐待児に対する支援の専門性を高めるための職員研修等を行っている。		

【コメント】

島原市子ども虐待対応マニュアルを整備し、職員は安心できる生活の提供や子どもへの心理的援助、安定した人間関係の中で大切にされる経験ができるよう努めています。常勤で専門性を持った職員がおらず、当施設では十分な対応ができていないとの振り返りもありますが、必要に応じて医療機関への受診を行い、また児童相談所等の関係機関との連携や心理療法等専門的ケアなど、専門的なケアを受ける体制の整備や被虐待児に対して専門性を高めていくよう努めています。今後、虐待の経験のある子どもを専門的な視点からより深く理解できる支援への体制整備に繋がっていくことが望まれます。

②	A23 子どもの権利擁護を図るために、関係機関との連携を行っている。	a	A23
	<input type="checkbox"/> 児童虐待の発生やその疑いがある場合は児童相談所に通報し、連携して対応している。	○	
	<input type="checkbox"/> 被虐待児童に対しては、必要に応じて、心理判定や児童精神科医との相談などの児童相談所機能を活用している。	○	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、福祉事務所や保育所・学校・病院等と情報交換や連携を図り対応している。	○	

【コメント】

これまで事例はありませんが、施設では子どもの権利擁護を図るために児童相談所や福祉事務所等必要に応じて変形を図り連携を取り合う体制づくりがなされています。職員は母親と子どもと日頃の関わりを通して変化に対応し、親子の心の動きに注意を払いながら必要に応じて保育所や学校での過ごし方など情報を得て対応しています。児童相談所への通報や状況に応じて福祉事務所や関係機関とケースカンファレンスを行い、それぞれの立場の中から支援に繋がっていくように努めています。

(7) 家族関係への支援

①	A24 母親や子どもの家族関係の悩みや不安に対する相談・支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 家族の中に感情の行き違いや意見の相違がある場合、適切に介入し調整を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、他の親族との関係調整を行っている。	<input type="radio"/>

A24

【コメント】

家族間の調和に重点を置き、母と子どものそれぞれの考えを尊重しながら悩みや不安に対する相談に応じています。母親と子どもの感情の行き違いに配慮し、感情が落ち着くまでは距離を置いて過ごしなが職員が別室で母親と子どもの双方から話を聞くなど必要に応じて親子の間に介入し調整を行っています。今年度は職員が母親とともに子育て講演会に参加し、子どもとのよりよい関わり方を学ぶ機会を持ちました。日常の中で子どもに関わる困りごとを共に解決に繋げ穏やかに子育てができるよう努めています。

(8) 特別な配慮の必要な母親、子どもへの支援

①	A25 障害や精神疾患、その他の配慮が必要な母親と子どもに対する支援を適切に行い、必要に応じて関係機関と連携している。	a
	<input type="checkbox"/> 社会資源の積極的な活用をするための支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 公的機関や就労先、保育所や学校等と連携した支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 精神疾患があり、心身状況に特別な配慮が必要な場合、同意を得て主治医との連携のもと、通院同行、服薬管理等の療養に関する支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 障害や精神疾患がある場合や外国人の母親や子どもへは、必要に応じて公的機関、就労先への各種手続きの支援を行ったり、保育所、学校等、他機関と連携し情報やコミュニケーション確保の支援を行っている。	<input type="radio"/>

A25

【コメント】

現在対象者はいませんが、障がいや精神疾患のある方のケースなど、それぞれの心身の状況に応じた支援が行えるよう支援体制を整えるよう努めています。必要に応じて社会資源や協力医療機関と連携を図り、受診時の同行や配慮が必要な母親や子どもへの支援が検討されています。外国人の受け入れも入居段階でその人に応じた対応ができるか検討し、可能であれば体制を整え言葉の違いを理解しながらコミュニケーションに配慮し支援していく意向にあります。

(9) 就労支援

①	A26 母親の職業能力開発や就労支援を適切に行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の心身の状況や能力・適性・経験・希望に配慮した支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 資格取得や能力開発のための情報提供や支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 公共職業安定所以外にも、パートバンクや母子家庭等就業・自立支援センター等、様々な機関との連携や調整、必要に応じて、同行や職場開拓等の支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 母親が安心して就労できるように補完保育(残業や休日出勤時の保育等)、病後児保育、学童保育などを行っている。	<input type="radio"/>

A26

【コメント】

職員は自立に向けて自分の考えを整理してみることを促し、現在の心身の状態やこれまでの経験や適性を生かした就労に繋がるよう、母子父子自立支援員と連携して支援に努めています。就労支援制度の活用や必要な資格取得に向け、ハローワークと協働の姿勢を持ち、相談役や必要な情報を提供しながら支援が行われています。母親の仕事の都合で子どもに付き添えない時や、保育園に入れないときには、職員は母親が安心して就労できるよう施設内で補完保育、病後児保育、学童保育を行いながら就労と子育ての支援に努めています。

②	A27 就労継続が困難な母親への支援を行い、必要に応じて職場等との関係調整を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 職場環境、人間関係に関する相談や助言など、個々に対応した幅広い支援を行っている。	<input type="radio"/>

A27

<input type="checkbox"/> 母親が望む場合、就労継続のために職場との関係調整を行っている。	
<input type="checkbox"/> 障害がある場合や外国人の母親の場合、その心身等の状態や意向に配慮しながら、就労の継続に向けての支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 就労継続が困難な母親を積極的に受け入れている。	
<input type="checkbox"/> 必要に応じて福祉的就労の活用を図っている。	

【コメント】

母親の就労継続が困難な要因や現在の経済状況を半年に1回面談を通して把握し、母親が現在抱えている不安や悩みに寄り添いながら、自信と安心感を持って生活が継続できるよう支援に努めています。母親の経済状況が安定してくれば市営住宅への入居を支援し、関係機関との連携や各種制度の活用をしながら退所に向けた計画書の策定が行われています。母親や子どもの居場所づくりなどの支援を行い、母親が前向きに生活ができるよう繋げています。今後、アセスメントを通じて把握したニーズに応じた就労への支援体制の展開に期待します。

(10) スーパービジョン体制

① A28 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	c	A28
<input type="checkbox"/> スーパーバイザーを配置し、いつでも相談できる体制を確立している。		
<input type="checkbox"/> 職員に対するスーパービジョンを定例的に行い、職員がひとりで問題を抱え込まないように、スーパーバイザーなどを通じて、組織としての働きかけをしている。		
<input type="checkbox"/> スーパーバイザー以外にも職員相互が評価し、助言し合うことを通じて、職員一人ひとりが支援技術を向上させ、施設全体の支援の質を向上させるような取組をしている。		
<input type="checkbox"/> スーパーバイザーは、職員からの信頼が得られるよう、研修に参加するなど質の向上に努めている。		
<input type="checkbox"/> 国が定める基幹的職員を設置している。	○	

【コメント】

職員間で母親や子どもの問題を抱え込まないようにするため、基幹的職員を配置し日常的に相談できる体制が整えられています。職員はお互いに評価し合い、また助言をし合うことで施設全体の質の向上に努めています。今後、施設におけるスーパービジョン体制を整え、外部研修に参加するなどの取り組みが求められます。

社会的養護施設第三者評価 利用者調査結果（施設種別：母子生活支援施設）

評価機関名 特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構

事業所名称	母子生活支援施設わかば
-------	-------------

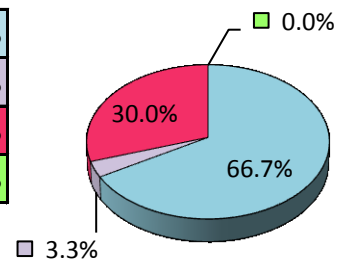
調査の対象・方法	<p>対象：母子生活支援施設わかば(母親用)</p> <p>方法：施設より利用者へアンケート調査用紙を渡し、記入後、直接評価機関へ郵送する方法により実施。</p>
----------	---

調査実施期間	平成29年12月1日～30年1月31日
--------	---------------------

利用者総数（人）	9
調査対象者数（人）	3
有効回答数（人）	3
回収率（％）	100％

アンケート結果平均

はい	20 件	66.7%
いいえ	1 件	3.3%
どちらともいえない	9 件	30.0%
無回答	0 件	0.0%



総 評	<p>質問項目中「職員から、この施設の考え方や内容について、わかりやすく説明をうけましたか？」・「職員は、あなたや子どもに対して大切に接してくれていると思いますか？」・「日常生活、子育て、家族関係、友人関係や仕事関係で困ったとき、職員は相談にのってくれますか？」に10割の利用者が肯定的な回答があり高く評価できる点である。一方、「この施設は安全だと思いますか？」・「子どもやあなたのプライバシーは守られていると思いますか？子どもやあなたのプライバシーは守られていると思いますか？」・「ここでの暮らしで「いやだなあ」「こまったなあ」と思ったときに、職員に話すことができますか？」との質問項目では「どちらとも言えない」の回答が上回っていることを踏まえ、今後、更なる改善に向けて取り組むことが期待される。</p>
気になったコメント (抜粋)	

社会的養護関係施設 第三者評価 利用者調査結果（母子生活支援施設・母親用）

事業所名称	母子生活支援施設わかば	有効回答数	3 人
-------	-------------	-------	-----

No	質問項目	回 答				回答数	(%)
1	この施設の雰囲気や生活環境は暮らしやすいですか？	はい				2 件	66.7%
		いいえ				0 件	0.0%
		どちらともいえない				1 件	33.3%
		無回答				0 件	0.0%
2	この施設は安全だと思いますか？	はい				1 件	33.3%
		いいえ				0 件	0.0%
		どちらともいえない				2 件	66.7%
		無回答				0 件	0.0%
3	職員から、この施設の考え方や内容について、わかりやすく説明をうけましたか？	はい				3 件	100.0%
		いいえ				0 件	0.0%
		どちらともいえない				0 件	0.0%
		無回答				0 件	0.0%
4	職員は、あなたや子どもに対して大切に接してくれていると思いますか？	はい				3 件	100.0%
		いいえ				0 件	0.0%
		どちらともいえない				0 件	0.0%
		無回答				0 件	0.0%
5	日常生活、子育て、家族関係、友人関係や仕事関係で困ったとき、職員は相談ののってくれますか？	はい				3 件	100.0%
		いいえ				0 件	0.0%
		どちらともいえない				0 件	0.0%
		無回答				0 件	0.0%
6	あなたのこれからの生活に向けての目標について、職員は相談ののってくれますか？	はい				2 件	66.7%
		いいえ				0 件	0.0%
		どちらともいえない				1 件	33.3%
		無回答				0 件	0.0%
7	子どもやあなたのプライバシーは守られていると思いますか？	はい				1 件	33.3%
		いいえ				0 件	0.0%
		どちらともいえない				2 件	66.7%
		無回答				0 件	0.0%
8	職員による言葉の暴力、無視はありませんか？	はい				2 件	66.7%
		いいえ				0 件	0.0%
		どちらともいえない				1 件	33.3%
		無回答				0 件	0.0%
9	ここでの暮らしで「いやだなあ」「こまったなあ」と思ったときに、職員に話することができますか？	はい				1 件	33.3%
		いいえ				0 件	0.0%
		どちらともいえない				2 件	66.7%
		無回答				0 件	0.0%
10	ここでの暮らしで「いやだなあ」「こまったなあ」と思ったときに、職員以外の外部の人にも話することができることを知っていますか？	はい				2 件	66.7%
		いいえ				1 件	33.3%
		どちらともいえない				0 件	0.0%
		無回答				0 件	0.0%

社会的養護施設第三者評価 利用者調査結果（施設種別：母子生活支援施設）

評価機関名 特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構

事業所名称	母子生活支援施設わかば
-------	-------------

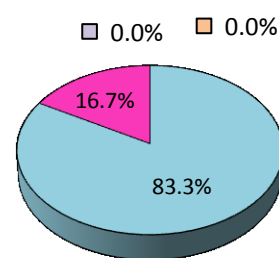
調査の対象・方法	<p>対象：母子生活支援施設わかば（子ども用）</p> <p>方法：施設より利用者へアンケート調査用紙を渡し、記入後、直接評価機関へ郵送する方法により実施。</p>
----------	--

調査実施期間	平成29年12月1日～30年1月31日
--------	---------------------

アンケート結果平均

利用者総数（人）	9
調査対象者数（人）	2
有効回答数（人）	2
回収率（％）	100%

はい	15 件	83.3%
いいえ	0 件	0.0%
どちらともいえない	3 件	16.7%
無回答	0 件	0.0%



総 評	<p>質問項目中、「あなたには、自分の気持ちやあなたの考え話しやすい施設の大人の人がありますか？」・「ここでのくらしでは、あなたのプライバシー（人に知られたくないことや自分の居場所）は守られていますか？」・「ここでのくらしで「いやだなあ」「こまったなあ」と思ったときに、施設の外の大人の人にも話すことができることを知っていますか？」との回答に「どちらともいえない」との回答があることを踏まえ、今後の更なる改善への取り組みに期待したい。</p>
気になったコメント（抜粋）	

社会的養護関係施設 第三者評価 利用者調査結果（母子生活支援施設・小学校4年生以上用）

事業所名称	母子生活支援施設わかば	有効回答数	2 人
-------	-------------	-------	-----

No	質問項目	回 答	回答数	(%)
2	この施設は、くらしやすく、安心して生活できますか？	はい		2 件 100%
		いいえ		0 件 0%
		どちらともいえない		0 件 0%
		無回答		0 件 0%
3	施設大人の人たちから、あなたは大切にされていると感じますか	はい		2 件 100%
		いいえ		0 件 0%
		どちらともいえない		0 件 0%
		無回答		0 件 0%
4	施設の大人の人たちはこの施設の決まりや約束ごとをわかりやすく教えてくださいませんか？	はい		2 件 100%
		いいえ		0 件 0%
		どちらともいえない		0 件 0%
		無回答		0 件 0%
5	施設の大人の人たちは、あなたがいやがるよび方をしたり、命令したり、乱暴な言葉を使ったりしないで接してくれますか？	はい		2 件 100%
		いいえ		0 件 0%
		どちらともいえない		0 件 0%
		無回答		0 件 0%
6	施設の大人の人たちは、あなたの良いところをほめてくれますか？	はい		2 件 100%
		いいえ		0 件 0%
		どちらともいえない		0 件 0%
		無回答		0 件 0%
7	施設の大人の人たちは、あなたが成長していくために取り組む目標、あなたの将来（学校や仕事）について話を聞いてくれますか？	はい		2 件 100%
		いいえ		0 件 0%
		どちらともいえない		0 件 0%
		無回答		0 件 0%
8	あなたには、自分の気持ちやあなたの考えを話しやすい施設の大人の人がありますか？	はい		1 件 50%
		いいえ		0 件 0%
		どちらともいえない		1 件 50%
		無回答		0 件 0%
9	ここでのくらしでは、あなたのプライバシー（人に知られたくないことや自分の居場所）は守られていますか？	はい		1 件 50%
		いいえ		0 件 0%
		どちらともいえない		1 件 50%
		無回答		0 件 0%
10	ここでのくらしで「いやだなあ」「こまったなあ」と思ったときに、施設の外の大人の人にも話すことができることを知っていますか？	はい		1 件 50%
		いいえ		0 件 0%
		どちらともいえない		1 件 50%
		無回答		0 件 0%